

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	開発指導事業	コード	担当係	担当者
		01-01-02-01	担当者	牛房裕二
事業実施期間	昭和48年～		電話	0869-64-1834
総合計画 事業(政策)体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目	生活しやすいまちづくり		
	小項目	開発規制		
	施策	民間開発の指導・緑地等の保全と活用・乱開発の防止		

事業について	
目的	無秩序な開発を防止し、現在及び将来の市民の健康で快適な生活環境の確保に寄与するため
対象(誰のために)	開発行為をする者(各法令で定めた許可基準に該当する場合)
内容	窓口、電話による開発相談への対応。開発申請書の書類審査、県知事許可案件の県知事への進達、市条例の開発許可、台帳記載等。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
都市計画法	0件		
宅地造成規制法	2件		
岡山県土保全条例	0件		
市開発条例	5件		
相談件数	65件		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	0	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等				
	人件費	10,555	受益者負担		人件費		受益者負担				
	市債		市債		市債		市債				
合計	10,555	一般財源等	10,555	合計	0	一般財源等	0	合計	0	一般財源等	0

必要人員	1.23	人		人
------	------	---	--	---

結果指標①	結果指標名	相談件数	
	結果指標量	65	
	単位	件	
	対前年比	—	0.00%
	事業費	10,555,000	円
	単位当たりコスト①	162,385	円

結果指標②	結果指標名		
	結果指標量		
	単位		
	対前年比	—	
	事業費	円	円
	単位当たりコスト②	円	円

事業の成果	17年度		
成果指標名	相談回答率	式又は説明	回答件数/相談件数
成果指標量	100%		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	100%	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	都市計画法、宅地造成等規制法、岡山県土保全条例により法令で定められており、目的・対象ともに妥当である。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	市民ニーズの妥当性	他部署との密接な連絡調整により、事務処理を効率よくする。また、コストの削減が図れる。
	市の関与の妥当性	
	コストの効率化	
有効性の評価	手段の最適化	無秩序な開発を防止
	職場の効率化	
	目的達成度	
市民参画度	成果向上の可能性	無秩序な開発を防止
	市民参画度	
	市民参画度	

総合評価	コメント	評価区分
	開発関係申請事務は、申請者からの許可申請により事務処理が行われるので計画的に進めることはできない。また、他法令の許認可の進捗状況により事務処理に影響があるため、他部署と密接な連絡調整をする必要がある。	<A~E> A

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度結果指標量①	相談回答率	結果指標量②
目標値	結果指標量	100%

改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性		提出書類の完備の指導	毎年度	審査期間の短縮

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。